STAR digio 100 チャンネル:438

## CLASSIC NEW ALBUM

「番組案内(4時間サイクル)」

開始時間:4:00~8:00~12:00~16:00~20:00~24:00~

楽曲タイトル

CLASSIC NEW ALBUM 「レコード芸術」

10月号新譜月評掲載盤

トローバ:

サルスエラ「ルイサ・フェルナンダ」

放送日:2008/10/27~11/2

第1幕 序奏と第1曲

A:「あたしの母さんはこのあたしを」

トローバ:

サルスエラ「ルイサ・フェルナンダ」

第1幕 第1曲

B ハバネラ:「若者は兵役に発つところだった」

トローバ:

サルスエラ「ルイサ・フェルナンダ」

第1幕 第2曲

ハビエルとマリアーナの二重唱とハビエルのロマンサ

「こんにちは、マリアーナ/

この心地よいマドリードの一隅から」

トローバ:

サルスエラ「ルイサ・フェルナンダ」

第1幕 第3曲

ビダルとルイサ・フェルナンダの二重唱:

「ふるさと、エストレマドゥーラに」

トローバ:

サルスエラ「ルイサ・フェルナンダ」

第1幕 第4曲 カロリーナとハビエルの花の二重唱

「ぴんと高い羽根飾りの紳士さん」

トローバ:

サルスエラ「ルイサ・フェルナンダ」

第1幕 第5曲 第1幕フィナーレ:

「狂おしい大望の炎に身を包まれて」

マルティーニ:愛の喜び

A.スカルラッティ: すみれ

A. スカルラッティ: 私は心に感じる

モーツァルト:静けさはほほえみながら K152

トスティ:理想の女

トスティ:別れの歌

トスティ:さようなら

ヘンデル:ディキシット・ドミヌス

(詩篇「主は、わが主に言いたまいぬ」HWV232)

カルダーラ:

クルチフィクスス「十字架につけられ」(16声)

ラフマニノフ:交響曲 第1番 二短調 作品13

ラフマニノフ:交響曲 第2番 ホ短調 作品27 ラフマニノフ:ヴォカリーズ 作品34-14

ドヴォルジャーク:交響曲 第6番 二長調

作品60 B.112 第1楽章~第4楽章

演奏者名

サビーナ・プエルトラス (ソプラノ)、

ラケル・ピエロッティ (メッゾ・ソプラノ)、

フェデリコ・ガリャール (バリトン)、

マリオーラ・カンタレーロ (ソプラノ)、

ファン・アントニオ・サナブリア(テノール)、 ヘヘス・ロペス・コボス(指揮)、

マドリード王立劇場付管弦楽団 アンヘル・ロドリゲス (テノール)、

ラケル・ピエロッティ(メッゾ・ソプラノ)、

ヘスス・ロペス・コボス(指揮)、

マドリード王立劇場付管弦楽団 & 合唱団

ホセ・ブロス (テノール)、

ラケル・ピエロッティ (メッゾ・ソプラノ)、

ヘスス・ロペス・コボス(指揮)、

マドリード王立劇場付管弦楽団

プラシド・ドミンゴ (テノール)、

ナンシー・エレーラ (メッゾ・ソプラノ)、

ヘスス・ロペス・コボス(指揮)、

マドリード王立劇場付管弦楽団

マリオーラ・カンタレーロ (ソプラノ)、

ホセ・ブロス (テノール)、

ヘスス・ロペス・コボス(指揮)、

マドリード王立劇場付管弦楽団

ナンシー・エレーラ (メッゾ・ソプラノ)、 ハビエル・フェレール (テノール)、

フェデリコ・ガリャール (バリトン)、

プラシド・ドミンゴ ( テノール ) 、

ラケル・ピエロッティ (メッゾ・ソプラノ)、

マリオーラ・カンタレーロ(ソプラノ)、

ホセ・ブロス (テノール)、 ヘスス・ロペス・コボス (指揮)、

マドリード王立劇場付管弦楽団

中嶋彰子(ソプラノ)、ニルス・ムース(ピアノ)

トーマス・ヘンゲルブロック(指揮)、 バルタザール=ノイマン合唱団、

バルタザール=ノイマン=アンサンブル

ウラディーミル・アシュケナージ(指揮)、 シドニー交響楽団

ラドミル・エリシュカ(指揮)、札幌交響楽団

<sup>\*</sup>個人的に楽しむ場合を除き、著作権上、無断複製は禁じられています。

<sup>\*</sup>FAXサービスは、(月)午前中入替作業の為、午後以降のご利用をお願い致します。御了承下さい。